

平成 26 年 12 月 2 日

第 8 回アジア太平洋埋立国際会議（スペシャルシンポジウム in Vietnam）開催報告
APLAS Ho Chi Minh 2014
The 8th Asian-Pacific Landfill Symposium - Special Symposium in Vietnam -

○主旨

アジア太平洋地域の深刻な廃棄物問題に対処し、持続可能な開発の実現を目指して、廃棄物の埋立及び再資源化分野等の専門家が集い、それぞれの有する技術、理論または経験を共有し、地域全体の環境向上の資することを目的として開催される国際会議である。通常は、3 日間開催（内、1 日は施設見学）であるが、今回は特別 1 日間のスペシャルシンポジウムとして開催された。

○開催経緯

第 1 回 福岡（2000 年） 第 2 回 ソウル（2002 年） 第 3 回 北九州（2004 年）
第 4 回 上海（2006 年） 第 5 回 札幌（2008 年） 第 6 回ソウル（2010 年）
第 7 回 バリ（2012 年）

1. 開催日時・場所

日時：平成 26 年 10 月 23 日（木）

場所：ベトナム ホーチミン市 Windsor Plaza Hotel

2. 開催形態

(1) 主催： NPO 最終処分場技術システム研究協会（NPO・LSA）

ホーチミン工科大学(HCMUT)

創設者：花嶋 正孝（NPO・LSA 最高顧問）

実行委員長：古市 徹（NPO・LSA 理事長）

Vu Dinh Thanh（HCMUT 学長）

(2) 後援：ベトナム都市環境・工業地域協会（VUREIA）

韓国首都圏埋立公社（SLC）

JICA ベトナム事務所

日本廃棄物団体連合会国際委員会

(3) 協賛：株式会社イッコウ、三ツ星ベルト株式会社、日本セイフティー株式会社、
太陽工業株式会社、東洋紡績株式会社、東ソー・ニッケミ株式会社

(4) ビジネスセッション参加企業（発表順）

八千代エンジニアリング株式会社、日立造船株式会社、

株式会社神鋼環境ソリューション、株式会社市川環境エンジニアリング、

ツネイシカムテックス株式会社、新明和工業株式会社、

株式会社サティスファクトリーインターナショナル、

株式会社エイト日本技術開発、中外テクノス株式会社、株式会社アクトリー

(5) 企業展示参加企業

株式会社エックス都市研究所、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、
清水建設株式会社、水 ing 株式会社

3. 参加人数など

- ・参加人数 141 人
- ・参加国数 日本、韓国、ベトナム、インドネシア、ベルギー、ニュージーランド、
中国の 7 カ国
- ・口頭発表数 17 件 ポスター発表数 12 件
- ・ビジネスセッション発表数 11 件
- ・企業展示数 15 件 (ビジネスセッション発表者含む)
- ・フェアウェルパーティ参加人数 77 人

4. プログラム

10:00 オープニングセレモニー

- ・ 実行委員長挨拶
古市 徹 (NPO・LSA 理事長)
Vu Dinh Thanh (HCMUT 学長)
- ・ 挨拶
Nguyen Van Phuoc (ホーチミン市 資源環境部 副部長)
Nguyen Huu Dung (VUREIA)
Jaeyong Song (SLC 社長、代理挨拶 Yunhee Kim 技術長)
富坂隆史 (環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室
企画官、代理挨拶 山田浩司 課長補佐)
岡澤和好 (日本廃棄物団体連合会 会長)

11:00 基調講演

- ・ Enri Damanhuri (バンドン工科大学教授、インドネシア)
Current Situation and Perspective of Landfill Sites in Indonesia
- ・ Kaimin Shih (香港大学准教授、中国)
The Path of Waste Management in Hong Kong

13:30 ビジネスセッション及び口頭発表

1) ビジネスセッション

- ・ 八千代エンジニアリング株式会社 山内 尚
Waste Management Issues and Measures in Vietnam
- ・ 日立造船株式会社 Nguyen Phuc Thanh
Energy-from-Waste (EfW) Technology: An appropriate treatment alternative

towards sustainable development

- ・株式会社神鋼環境ソリューション 上村大輔

Renewable Energy from Waste by KOBELCO Gasification and Melting

- ・株式会社市川環境エンジニアリング 高野友理

Introduction of Waste Management, Intermediate Treatment, and Recycling
Business of IKE

- ・ツネイシカムテックス株式会社 長谷川 洋

New Technology for Industrial Waste Treatment

- ・新明和工業株式会社 大桐敏孝

Waste Storage, Collection and Transportation System for Vietnam

- ・株式会社サティスファクトリーインターナショナル 羽山和行

Electronic Manifest System for Ho Chi Minh City

- ・株式会社エイト日本技術開発 浅岡 幸基

Solid Waste Management Activities of E-J Group Corp. in SE Asia

- ・中外テクノス株式会社 川口晃司

TAKUMA Municipal Solid Waste Treatment Technologies combined System
of Incineration and KOMPOGAS Methane Fermentation process

- ・株式会社アクトリー 井波厚彦

Introduction of ACTREE

- ・LSA 大野文良

The Landfill System and Technologies in Japan

2) 口頭発表 (セッション名と発表国のみ) 合計 17 件

Session 1 埋立 7 件 (インドネシア 2、韓国 2、ベトナム 2、ベルギー)

Session 2 廃棄物管理・計画 4 件 (日本 4)

Session 3 リサイクルとバイオマス利活用 3 件 (インドネシア 2、ベトナム)

Session 4 住民参加とカントリーレポート 3 件 (韓国、日本、インドネシア)

18:00 ポスター発表と企業展示会

1) ポスター発表 12 件 (日本 7、インドネシア 2、ベトナム 2、韓国)

2) ビジネスセッション

- ・上記ビジネスセッション参加企業
- ・株式会社エックス都市研究所、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、清水建設株式会社、水 ing 株式会社

19:00 フェアウェルパーティ

- ・乾杯の挨拶 Nguyen Phuoc Dan (HCMUT、環境工学科学科長)
- ・御礼の挨拶 石井一英 (NPO・LSA 国際委員会委員長)
- ・表彰

○最優秀論文賞

Wonback Son, WonHyo Seo (Korea)

The study of “Realization of sanitary landfills of Sudokwon landfill site”

○最優秀ポスター賞

Lam Hoang Vu

Impact of Dissolved Oxygen on Partial Nitrification for Treating High Ammonium Concentration from Old Landfill Leachate

・ HCMUT と LSA のお土産交換

・ 感謝状の贈呈

ビジネスセッション参加企業、企業展示参加団体、協賛企業

・ ベトナム伝統舞踊

・ 引継ぎ式

司会：大野文良（NPO・LSA アプラスパーマネントオフィス事務局長）

次回香港開催の紹介 Kaimin Shih（香港大学准教授、中国）

クリスタルトロフィーの引継ぎ

HCMUT：Nguyen Danh Thao（HCMUT 国際部長）

香港大学：Kaimin Shih

○第8回のハイライト～ビジネスセッションの開催

- ・ 日本の廃棄物処理・リサイクル関連技術を海外（特に東南アジア）にビジネス展開するには、各国の研究者のみならず、現地実務者（自治体職員、事業者など）とのネットワークとコミュニケーションが必要。
- ・ これまでの APLAS 開催の実績と知名度を生かして、APLAS を「日本企業と現地実務者とのネットワーク構築の場」として提供。日本企業側にとって、現地パートナー探しなどメリットが多いと考えた。
- ・ 学術的な発表だけでなく、現地実務者向けの企業展示（ブース）やセミナーを開催することを、APLAS の一つの特色として位置づけ、前回の APLAS Bali 2012 では、その試みとして、Special Lecture Session と題したビジネスセッションが開催され好評だった。
- ・ 今回のビジネスセッションは、ベトナム関係者の多数の参加があり、日本企業の有する関連技術や経験がアピールできた。今後のベトナムにおける日本企業のビジネス展開が期待される。
- ・ 次回、2016 年の香港開催の APLAS においても、同様のビジネスセッションを開催する予定である。